

2020

ぶうげん
びりあ★
2
月号

No.317

ホームページ <http://www.hahashouchu.ogasawara.ed.jp/>

母島小中学校の学習発表会

副校長 中岡 理和

1月24日（金）、26日（日）に行われた学習発表会、学校公開日にはご来賓の皆様をはじめ、地域の皆様、保護者の皆様にはお忙しいところご来校いただきありがとうございました。また、本校の学習発表会のために保育園、保護者・地域の皆様、小笠原小学校・中学校、高校の児童・生徒の作品展示のご協力も合わせてお礼を申し上げます。

本校の学習発表会は各学年が1年間学習してきた各教科の成果を展示しています。それはまるで、1年間日々積み重ねてきた子供たちと先生による「成長の物語」のように感じます。

1年生。入学して間もない緊張している姿。そこで初めて勉強する国語や算数。初めて書いた名前と現在書いた名前。授業中の机に向かう姿勢。立派に成長しているなど感じます。

2年生。夏休み後、新しい仲間が一人増えました。毎年目玉となる図工の共同作品の段ボールハウス。新しい仲間との化学反応が作品に表れているなど感じました。

3年生。初めて学習する理科と社会の展示が加わります。理科でのカイコの学習や社会科のはじま丸での学習は母島の特色です。防災グッズやビーチコーミングアートも作りました。

4年生。カメの放流や、ダム・浄水場見学、北村校外学習。数々の校外学習の中で、講師の先生の話真剣に聞き質問する姿に成長を感じました。そして、新聞づくりが上手になりました。

5年生。南崎のねこ柵学習を模造紙1枚にまとめました。発表も上手でした。また、初めての家庭科。ミシンと格闘しながら作ったエプロンを今年は見ることができました。

6年生。1年間学習したことを各自が1枚のパネルにまとめました。まさに一人学習発表会。すべての作品が小学校最高学年としての満足なクオリティーでした。

中学一年生。平島校外学習。苦勞してやっと行けた平島。準備からのことを思い出しました。

中学二年生。硫黄島の学習。地域の方の真剣に読む姿に学習の意義を感じます。

中学三年生。修学旅行。上級学校訪問や職場体験等しっかり学習してきたことがわかります。

各学年、どのブースも見どころ満載でした。また、1年生から回っていくとあることに気づきます。子供たちの9年間の成長です。この学年が「こんなことを書くようになったんだ」そんな成長を楽しむのも母島小中学校学習発表会のひとつです。今の1年生が6年生、中学3年生でどのようなブースを飾るのか。学校は、日々、そして一年一年、子供たちの学力を体力を心を育ててまいります。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

1月21日から本格的に準備が始まり、次々に作品が展示されていく体育館。そして26日には、保育園の子供たちから父島の交流作品まで、多くの作品で会場が埋め尽くされました。

私にとっては3回目となる学習発表会。1年目はそれぞれの生徒の感性にただただ感心していただけだった鑑賞の時間も、去年、一昨年と比べて、あの子がこんなことを感じ、考えて、表現するようになったのかと、それぞれの子供たちの成長を感じながら鑑賞するようになり、子供たちの感性や表現力の成長に驚かされる時間となりました。

中学校の展示では毎年、総合的な学習の時間での学びの成果を発表しています。1年生は、平島移動教室。2年生は、硫黄島訪島事業。3年生は、修学旅行。毎年行事は同じでも、学年によってテーマや内容の違いがあり、それぞれの生徒の興味や、こだわりが表れたまともになっているのが見どころです。子供たちは昔の学習を思い返して懐かしがったり、先輩の作品を見て先の学習に思いを馳せたりしながら、それぞれのブースを鑑賞していました。

各教科、各学年、一つ一つのブースに、児童生徒、そして教員の思いがこもっていた学習発表会。この空間も一つの作品のように感じました。ご来場いただいた皆様、作品を作成して展示にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

学習の成果を

今回の学習発表会も、それぞれの学年がブースに分かれて様々な学習の成果を発表することができました。「この学習ではこんなことをめあてにして、こんなことができたようになった。」「前より字を上手に書けるようになった」「こんなことを工夫して絵を描いた」など、学年当初から現在にいたるまでの、それぞれ個人の学習の頑張りや成長の様子を見ることができる展示内容になったと思います。

2校時に行われた総合的な学習の時間の発表会では、小学校3年生から6年生までが発表しました。どの学年もパワーポイントを活用し、見ている方々に分かりやすいように工夫していました。

3年生・・・長浜・ユウサン海岸校外学習で体験したこと、学習したことを発表しました。クイズなども織り交ぜ、分かりやすく発表しました。

4年生・・・北村校外学習や明老会の交流など、昔の母島での暮らしについて学習したことを発表しました。それぞれが自分の課題を設定してまとめることができました。

5年生・・・南崎のネコ柵について学習したことを発表しました。鳥を守るためにのら猫を捕まえる作業の手順を分かりやすく説明することができました。

6年生・・・タコノ葉細工について発表しました。映像とともに、実際の作業を目の前でやって見せるという工夫がありました。

京都には「嵯峨」(さが)という地域があります。今では多くの観光客が訪れていますが、昔は都の郊外にある自然豊かな地域でした。この地域では四季折々の風景がとても美しく、特に小倉山(おぐらやま)などでは多くの貴族が別荘を建てていました。当時の建物では、和歌を色紙に書いて「障子」(現在のふすま)に貼り、室内を飾る習慣があったそうです。ある時、藤原定家という貴族が知人のために百首を選び、これを贈りました。これが「小倉百人一首」の始まりといわれています。今から約800年前、鎌倉時代のことです。

実は、藤原定家は書の達人でもありました。世界的にも評価の高い「源氏物語」や、仮名で書かれた最初の日記文学とされる「土佐日記」を書き写したもの(写本)が今でも残っています。

1月7日に「書初めの会」、1月8日に「百人一首大会」が行われました。「書初めの会」では小学校1、2年生は硬筆、小学校3年生から中学校3年生は毛筆に取り組みました。硬筆に取り組んだ小学校1、2年生は1文字1文字を丁寧に書いていました。小学校3年生から中学校3年生は呼吸を整え、毛筆の流れを確かめながら取り組んでいました。1つの空間の中で集中力を高め、手本と向き合う姿が印象的でした。「百人一首大会」では取り札を真剣に見つめて、緊張感ある試合が行われました。藤原定家と同じように小中学生が書と向き合い、優れた和歌を味わう。2つの芸術から古人の息吹を感じた2日間でした。

ALTより 「The Next Step」

ALT

It has been said that Japanese curriculum pertaining to English subject has been changed recently by MEXT (Ministry of Education, Culture, Sports, and Science and Technology). The curriculum in each grade level is in its proper alignment and my task is to make the lessons more meaningful and fun so that the students will be even more interested in learning the global language. The students in Hahajima school are very disciplined and responsible in any aspects. This is the reason why I extended another year of staying here in this island. As a foreign teacher who has been assigned to teach them the language, I will do my best impart not just the language itself but also the values and confidence in using it. I hope that during my stay in here, I would help them become competent and get them ready to see the reality outside the box wherein they can use the English language without hesitation. With the help of my wonderful Japanese colleagues, we can do it greatly!

英語の授業に関わるカリキュラムは文部科学省(MEXT)によって年々変えられてきています。各学年のレベルには繋がりがあり、私の仕事は、授業をより意味のあるものにし、楽しくさせることです。そうすることで子供たちは世界的な言語に、より興味をもってくれると思います。母島小中学校の子供たちはよく勉強し、どんな時でも責任感をもって活動していると思います。このことが、私がもう1年でもこの島にいたいと思う理由です。彼らに英語を教えるALTとして、ただ言語だけを伝えるのではなく、英語を使うことによる有用性や、英語を使うことで自信をもつことなども伝えていけるようがんばります。私がここにいる間、子供たちの英語力を上げることはもちろん、子供たちが今ためらいなく英語を話しているこの場所から外に出て、多くのことに触れるための、準備をさせてあげたいと心から望んでいます。すばらしい日本の先生たちの助けも借りて、大いにかんばりたいと思います。



2月の生活指導

生活目標

「感謝の気持ちを表そう」

- ・いろいろな人たちとの交流を深めよう。
- ・感謝の気持ちを言葉にして伝えよう。
- ・協力して卒業行事に取り組もう。

安全指導

3日(月)

「校舎内での過ごし方」が重点指導目標です。三学期も後半です。学習・生活両面でまとめをしていく時期です。落ち着いて学習し、安全な生活が送れるように、休み時間のときなど、校舎内での安全な過ごし方やルールについて指導します。

避難訓練

予告なし

校内での火災発生を想定した避難訓練を行います。今回は、児童生徒への避難訓練開始時刻の予告はしません。

緊急時に落ち着いて、素早く身を守るための行動をとれること等、普段の訓練の成果を確認する機会とします。

小学校音楽発表会

1 日時

令和2年2月28日(金)(音楽室)

開演 午後1時20分 終演 午後2時05分

2 プログラム

- (1) 始めの言葉(5年)
- (2) 校長先生のお話
- (3) 発表

4年	歌 「とんび」 合奏「茶色の小瓶」
3年	歌 「よろこびの歌」 合奏「よろこびの歌」
2年	歌 「子ぎつねコンコン」 合奏「かぼちゃ」
1年	歌 「トレロカモミロ」 合奏「きらきらぼし」
5年	歌 「威風堂々第1番」 合奏「クラッピングファンタジー」
6年	歌 「浜千鳥」 合奏「越殿楽変奏曲」
全員	歌 「大切なもの」

(4) 終わりの言葉(6年)

是非、おいでください。



2月の主な行事予定

			16	日	
1	土		17	月	小朝礼 中朝礼
2	日		18	火	学校運営連絡協議会
3	月	朝礼(安全指導) SC在島~7日まで	19	水	
4	火	(小6)中学校体験入学	20	木	
5	水	(中2)職場体験始	21	金	(小)6年生を送る会① (小)読書週間終
6	木		22	土	
7	金	(中2)職場体験終	23	日	天皇誕生日
8	土		24	月	振替休日
9	日		25	火	(中)期末考査1
10	月	朝礼(保健指導)ふれあい天文学 (小)読書週間始	26	水	(中)期末考査2
11	火	建国記念の日	27	木	(中)期末考査3
12	水	デザートの日	28	金	小学校音楽発表会
13	木	(小)新入生体験入学	29	土	
14	金	(小)6年生を送る会 (小)新入生保護者説明会			
15	土				

◆PTA校外部ホエールウォッチングについて◆

○令和2年2月1日(土)午前9時00分から12時00分まで

※予備日①2/2(日)②2/15(土)③2/22(土)④2/29(土)

